



全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 川北 研人／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎ (03) 3263-0287
ホームページアドレス／<http://zensyokyo.jp/>

全消協第49回定期総会

2026年度新体制がスタート 消防職場の課題解決と組織強化を進めよう

2025年9月4日、5日の2日間の日程で、全消協第49回定期総会を開催した。

東京・日本教育会館にて開催、代議員235人のうち204人の仲間が集結した。

さて、航空業界の安全管理の考え方方に「CRM」という言葉があります。元々「Cockpit Resource Management」という航空機の安全管理のための言葉で、当初は機長を中心となつて行っていましたが、事故を減らすため「Cockpit」から「Crew」という言葉に置き換え、航空機を運行するチーム全員で安全管理に取り組む形に変わったと聞いています。消協活動も同様に、四役・執行部だけでなく、会員全員が一丸となつて消防職員協議会という「飛行機」に乗り込み、さまざまな困難をともに乗り越えていかなければと考えております。

本総会にて、多くの役員が交代し新たな執行部体制となりました。総会を終えて重責を改めて実感しておりますが、代議員の皆さまからいたいたい信任を胸に、全国の消防職員のため職場課題の解決にむけて執行部全員で誠心誠意努めてまいりますので、今後とも、皆さまのさらなるご理解とご協力をお願い申しあげます。

最後になりますが、本総会運営にご尽力くださいました皆さまに感謝を申し上げ、結びといたします。

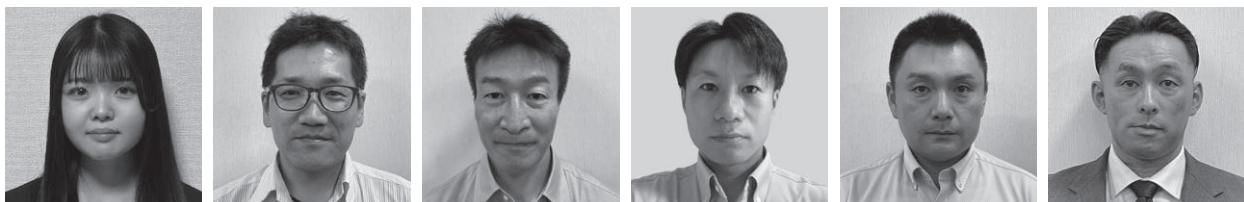
まずは、ご多用の中、全国各地から定期総会へ参加していただいた代議員・傍聴者の方々に心より感謝を申し上げます。また、各単協内で総会出席者のために勤務調整など、ご助力をいただいた会員の皆さんにもお礼を申し上げます。

まずは、ご多用の中、全国各地から定期総会へ参加していただいた代議員・傍聴者の方々に心より感謝を申し上げます。また、各単協内で総会出席者のために勤務調整など、ご助力をいただいた会員の皆さんにもお礼を申し上げます。

会長あいさつ

2026年度役員体制

全国消防職員協議会
会長 岡 大祐



女性連絡会代表
嶋田 菜々
東海ブロック
鈴鹿市消防職員協議会

中国ブロック幹事
小林 俊明
尾道消防職員協議会

北信ブロック幹事
清水 大輔
上田消防職員協議会

北海道ブロック幹事
小林 哲也
江差消防職員協議会

事務局長
川北 研人
東海ブロック
四日市市消防職員協議会

会長
岡 大祐
九州ブロック
佐伯市消防職員協議会



ユース部代表
竹内 彰彦
四国ブロック
高知市消防職員協議会

四国ブロック幹事
永楽 勝久
鳴門市消防職員協議会

東海ブロック幹事
前川 和奈香
鈴鹿市消防職員協議会

東北ブロック幹事
岩渕 寛
栗原消防職員協議会

事務局次長
藤木 亜純
北海道ブロック
函館市消防職員協議会

副会長
樺澤 隼人
東北ブロック
新潟市消防職員協議会



九州ブロック幹事
町本 太一
柳川消防行政研究会

近畿ブロック幹事
廣瀬 勇輝
京田辺市消防職員協議会

関東甲ブロック幹事
大木 直人
小田原市消防職員協議会

事務局次長
江部 寿
北海道ブロック
釧路市消防職員協議会

副会長
横山 峰弘
東海ブロック
名張市消防職員協議会

総務省消防庁に対し消防行政の充実強化に関する要望書を提出

(2025年度第2回目)

2025年7月9日、総務省消防庁に対し、2025年度第2回目となる「消防行政の充実強化に関する要望書」を提出した。要請行動には、全消協四役が臨み、消防庁からは田中消防・救急課長、岩熊消防・救急課長補佐らが対応した。



冒頭、須藤会長は田中消防・救急課長と要望書を交わし、消防職場の現状を踏まえ、①消防行政の充実と労働安全衛生体制の構築、②救急業務等、③緊急消防援助活動等、④働きやすい職場環境の整備、⑤広域化、⑥その他労働条件に関する事項、⑦消防職員との協議の継続・推進について訴えた。

そのうち回答を求めたのは以下の重点5項目。

- ①「消防力の整備指針」に示した必要な人員を充てする財源の確保。人員や車両について、現場との乖離が出ないよう各消防本部からの情報収集とともに、職員からも意見聴取するなど、現場実態に即した指針となるよう必要な改定を行つこと。
- ②派遣元消防本部から被災地までの出動および被災地から派遣元消防本部に引き揚げる際の移動時間について、緊急消防援助隊活動費負担金交付要綱に「派遣時の移動時間は労働時間」として、従来の考
- ③総務省消防庁のハラスマント相談窓口だけでは、十分に機能していないため、ハラスマント撲滅にむけ、より一層踏み込んだ施策を講じること。
- ④男女がともに仕事と育児・介護を両立できるよう必要な対策を講じることも、各消防本部における好事例の取り組みを調査し、制度の活用にむけた情報共有を行うこと。
- ⑤中途退職の状況や少子化による労働力人口の減少などを踏まえ、全国の消防本部における人材確保の対応について調査し、事例の情報提供を行うこと。

そのうち回答を求めたのは以下の重点5項目。

- ①「消防力の整備指針」に示した必要な人員を充てする財源の確保。人員や車両について、現場との乖離が出ないよう各消防本部からの情報収集とともに、職員からも意見聴取するなど、現場実態に即した指針となるよう必要な改定を行つこと。
- ②派遣元消防本部から被災地までの出動および被災地から派遣元消防本部に引き揚げる際の移動時間について、緊急消防援助隊活動費負担金交付要綱に「派遣時の移動時間は労働時間」として、従来の考
- ③総務省消防庁のハラスマント相談窓口だけでは、十分に機能していないため、ハラスマント撲滅にむけ、より一層踏み込んだ施策を講じること。
- ④男女がともに仕事と育児・介護を両立できるよう必要な対策を講じることも、各消防本部における好事例の取り組みを調査し、制度の活用にむけた情報共有を行うこと。
- ⑤中途退職の状況や少子化による労働力人口の減少などを踏まえ、全国の消防本部における人材確保の対応について調査し、事例の情報提供を行うこと。



これに対し、消防庁はそれぞれ回答。①の「消防力の整備指針」については、「現在消防本部における人員や車両等の整備状況を把握するための実態調査を実施しており、各消防本部の状況について適切に把握してまいりたいと考えている。引き続き、市長損が消防力の整備指針の趣旨を踏まえ、消防力の計画的な整備を進めることができるよう、必要案助言・支援を行つてまいりたい」として、従来の考え方を示すにとどめた。②の移動時間の取り扱いについては、「消防本部に対しては、緊援隊活動費負担金の交付事務における留意点として、緊援隊の隊員の手当に関しては、消防本部に対する申請の旨と合わせて、各地方公共団体の条例および関係規定に基づき勤務時間とみなされるものに限り申請できる旨通知している」と回答した。原則、移動時間は労働時間と解されてはいないものの、各地方公共団体で労働時間と判断された移動時間については申請できることである。回答を受け、全消協からは、整備指針を踏まえた財政措置、緊援隊の移動時間の取り扱い、全消防職員を対象のハラスマント調査の実施、男性の育児休業取得における好事例の共有、女性消防吏員のメンターについて要望・質問した。また、消防職員委員会で審議対象外になつている実例などを紹介した。

消防の課題は多種多様で、地域ごとに課題がある。全消協は今後も全国の会員の声を踏まえた現場実態を伝え、よりよい消防行政の実現と消防職員の労働条件向上にむけた要請活動に取り組んでいく。

全国の消防の仲間に「Give Happiness」――

半鐘のアドバイス

じきなりですが、皆さん協議会活動に「クワクワ」していますか?

協議会活動をしていると、非番や公休を利用して活動することが多く、上手くいかないとイライラして不機嫌になつてしまつことがあります。自分の自由な時間を使っているから尚更ですね。

全消協、ブロック、県、単協のどれもが組織であり、仲間です。同じ目的、目標をめざして組織として活動していく中で、最もいらない感情、それは不機嫌です。不機嫌な人と誰が一緒に活動したいですか? 自分の感情が不機嫌にならないように心がけてみてください。同じ価値観を共有し、われわれの目標である団結権の回復をめざし、今までいたじりあいなどじつかりとフォーカスして活動していくましょう。

「Give Happiness」この言葉を知っていますか? すべての人」「すべての場所で幸せを創造する」と意味します。これはディズニーの創設者のウォルト・ディズニーが言っていた言葉です。これは協議会活動にも通ずるものがあると思います。劣悪な職場環境や労働条件が改善されれば、自然と周囲の仲間も笑顔になり、その環境に笑顔が増えれば、自然と家庭内でも幸せが増していくりますよね。不機嫌と笑顔は伝染していくものです。

だからこそ、協議会活動はワクワクするものでなければならぬし、金消協はその玉手にならなければいけないと考えます。その先にある、本当にやりたいことは何なのか、なりたい自分は何なのか、団結権が回復した後にやりたいこと、やらなければいけないことは何なのか。団結権が回復してから準備しても遅いと思います。ワクワクする組織、それに必要なものは若い世代の力です。若い世代の会員離れを止めるのは今しかありません。労働講座でもお話ししたので、ぜひ資料を参考にして取り組んでみてください。

全消協幹事として2年間活動する中で、たくさんの方々との縁があり、熱い気持ちを持った仲間がたくさんできました。また、九州ブロック役員、各県会長様をはじめ、会員の皆さまのサポートがあつたおかげで幹事の仕事を果たすことができました。

これからは単協に戻り、ワクワクする協議会に磨きをかけていきたいと思います。

北川 彰平（九州ブロック前幹事）

全消協ではホームページのほか、
Facebook・X・Instagramを開設しています！



今後の予定

2026年2月17日(火)・18日(水)

全消協第56回労働講座